

## リスク管理

し、情報システム開発会社側も危機意識を持っており、国内シェアの8割を占める富士通、日立製作所など情報システム手8社が顧客企業と共同でシステム障害を防ぐための統一基準を9月下旬にも文書にまとめて業界に配布、中小企業の採用も促す動きが出ている。

世の中にITが普及するにつれて、事故の発生頻度、影響が大きくなっている。利用者には提供されるサービスの使い勝手の良さが強調されるが、その裏側で情報システムの肥大化、複雑化が進んでおり、安定的なITサービスの提供に対して、リスクが高まっている。改めてシステム開発プロジェクトのあり方が問われている。

# リスクマネジメント ABC

これは重要な取り組みではあるが、プロジェクト内で共通の言葉が使われるようになったという、コミュニケーションにおいては、より踏み込んだ取り組みが必要である。

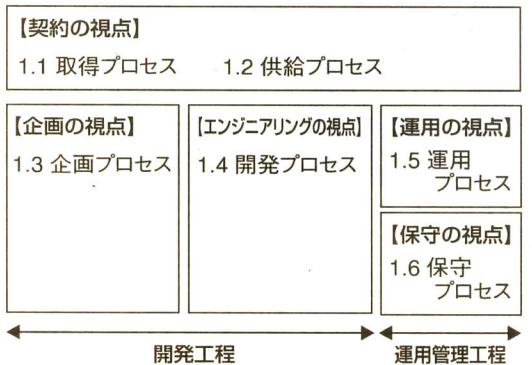
その取り組みの鍵になるのは、プロジェクトメンバー間で真実の情報を共有する力である。メンバー間では情報の偏りや軽視する傾向があつてはならない。プロジェクトを円滑に進めるために必要な情報を適切なタイミ

制約の厳しいプロジェクトでは心理的な重圧に負けて、情報を隠蔽したままの曖昧な内容しか報告しないという問題が発生している。結局、情報の取り扱いに関しては、技術や知識の問題だけではなく、人間の心理的な要

音が語られている。  
プロジェクトにおける  
コミュニケーション力の  
形成には、リーダーの資  
質が重要である。知識や  
技術、役職等だけではな  
く、良い「場」を作ること  
ができるマードメーカー  
としての資質も今後  
ますます

## システム開発プロジェクト

# ソフトウェアを中心としたシステムの開発および取り引きのための共通フレーム体系 1998年版 (SLCP-JCF98体系)



ングで、全員が真摯に提示し理解に努める必要がある。

素が大きく関係していると思われる。